

「ライフスマイル」発行一周年を迎えて

光陰矢のごとし、平成23年度から発行を開始した、当ライフスマイルも、早一周年となりました。

昨年度は、大震災の影響もあり、『絆』の文字があちこちに見つけられました。当社においても、従業員同士の『絆』を強めていく一助となれば、との思いで、各号を発行してまいりましたが、少しはお役に立てたでしょうか。

毎号編集委員から、たくさんのアイデアやヒントをもらい、また、寄稿していただいた皆様のご協力を賜り、何とか編集長としての格好がつか、と思っております。お世話になりました皆様へ、この場を借りて、お礼申し上げます。

さて、今号から、ライフスマイルは新しいサイクルに入ります。後ほどご紹介いたします、新編集委員のメンバーと共に、より一層素晴らしいライフスマイルをお届けしていきますので、是非、これからもお楽しみ下さい。 **編集長 永山乃丸**



今まで発行したバックナンバーはホームページでご覧いただけます。
<http://www.kitasato-life.co.jp/>

Life Smile

2012年
夏号
Vol.5

…生き生きライフ便り…

発行 北里ライフサービス株式会社
TEL: 042-778-8175
FAX: 042-777-6380
thanks@kitasato-life.co.jp

北里ライフサービス株式会社に期待すること

北里ライフサービス株式会社 取締役 / 学校法人北里研究所 法人本部 人事部長 真壁泰夫

私は平成21年7月より当社非常勤取締役に就任させていただいており、今後も微力ながら当社の発展に貢献してまいりたいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。

就任後に社員の皆様と直接接して感じたことは、一人ひとりが誠実に、かつ実直に業務に取り組んでいただいていることです。当社は、ここ数年目覚ましい発展を遂げていることは周知のとおりですが、まさに社員の皆さまの献身的なご活躍により、成長・発展しているものと実感いたしました。

さて、学校法人北里研究所第18期理事会施策の重点課題のひとつとして掲げられておりました関連法人の在り方につきましては、「当分の間は現状のまま業務を遂行することが妥当」とすることが承認されておりました。その後当社と北里メディカルサービス(KMS)の両法人において、今後の在り方や方向性等に関して継続的に議論を重ねた結果、経営効率化等両法人統合によるメリットが見込まれるとの判断がなされたことから、「平成26年4月統合に向けて改めて両法人統合協議を再開する」旨が、平成24年4月常任理事会において承認されました。今後は、統合に向けた協議が両法人者間に於いて精力的に進められる予定です。

協議の相手であるKMSは、平成5年に社団法人北里研究所(現学校法人北里研究所)の運営のサポート行うべく設立された法人で、北里研究所・北里大学をはじめ一般法人からの業務も受注するなど幅広い事業展開

を行っています。特に北里研究所病院及び北里研究所メディカルセンター病院の医療周辺サービスを中心に、清掃関係業務や施設管理業務(建物、駐車場、自動販売機)、また人材派遣業務(医療事務、一般事務、看護補佐)などを、社員数550名(パート・アルバイトを含む)で取り組んでいます。北里研究所・北里大学の目指す教育・研究・医療の向上に貢献することを目的に、領域にとられず学校法人発展に向け多岐に渡る活動を行っていることなど、当社とほぼ同じ理念のもと設立・運営されている同業法人といえます。

両法人が統合することにより生じるメリットとしては、①両法人のもつ知識・技術の相互補完 ②管理部門の一本化 ③人材・組織の活性化 ④新規事業の推進等が見込まれます。理念達成のためのより良い姿はどうあるべきか、役割を果たすためにはどうすべきかなど、議論を尽くすことが必要であると考えております。統合が実現すれば、事業収入額においても従業員数においても大規模組織となることが予想されますが、単なる足し合わせの統合ではなく『1+1が3以上』となる様な、相乗効果を最大限発揮した統合となることを期待します。

豊富で質の高いサービスやきめ細かいサポートの提供を通じて、学校法人北里研究所の事業を展開するうえで「ライフサービスに任せて良かった」と喜んでいただくことや、更には「ライフサービスがなければ困る」と言われるくらいの意気込みで、更なる飛躍を目指して全社一丸となって力を合わせて行きましょう。



Illustration: Mirei

新編集委員メンバーからひと言

大曽根 綾子 施設部清掃一課

今年一年編集委員を務める事になりました。微力ですが、分かりやすく、より多くの方に手に取って頂けるような紙面作りに努力していきたいです。よろしくお祈りします。

角津 望 人材部人材一課

今回、読む側から編集側へと参加させて頂くことになり、毎号より良いものが出来るように精一杯頑張りたいと思っております。よろしくお祈り致します。

中村真紀 人材部人材二課

人材部人材二課所属、東病院の電話交換室で働いております。この1年間、皆さんに楽しんで読んで頂けるよう(自分自身も楽しんで作れるよう)なライフスマイルにしていきたいなと思っておりますので、よろしくお祈り致します。

松村真澄 人材部人材三課

楽しい読み物として捉えていたライフスマイルですが、今回は編集側の立場になり、仕事とは違った緊張感を覚えます。500名以上が働くなか、全員と言葉を交わすのは難しいですが、ライフスマイルを通じて会話のきっかけや絆が生まれたら嬉しい限りです。

三村徳子 施設部清掃二課

ライフスマイルを読んだ皆さんに「次回も楽しみだなあ」と思ってもらえるようにがんばりたいと思っています。

藤本順一(再任) 営業部

発刊されてから1年以上がたちました。回を重ねるごとに見栄えも内容も、どんどん進化しているのではないのでしょうか。

毎回本文内容についてどんな記事にしようか、四苦八苦しなが

ら作っています。自分は何も思いつかないのですが、編集会議で委員が集まると様々な案が出て、毎回目から鱗です。一人ではできない事でも、みんなでやれば形になっていくんだなあ、今更ながらに思いました。

中條 恵(再任) 営業部

“Life Smile”皆さんが読み終わった後も、また読みたいと思う、楽しく、情報交換の出来る季刊誌にしたいと思っています。

中村 浩(事務局) 事務局

本社事務局で総務を担当しています。新メンバーの方々と楽しくやっていきたいと思っております。

新潟県柏崎市出身です。『夏』と言えば『花火』。新潟には、有名な花火大会があります。長岡・柏崎・片貝の花火大会には是非お出かけ下さい。

新編集委員のメンバーへ

ライフスマイルも2年目に入ります。新しい仲間、新しい社内報に向かった『Try to Change』を期待します。社員、みんなで作り、親しみと温かみのあるライフスマイルを目指して一緒に頑張りましょう。新しい編集委員が前編集委員に負けず、当社の新しく元気な風を起こしてくれる事を期待しています。ファイト!!

関根 茂

『Try to Change』に向かって!!

代表取締役 社長 関根 茂

何か新しい事を始めよう、少しでも変化・前進するために行動を起こそう。そんな気持ちから今年の3月、部長と毎朝の連絡会時に読書会を実施しています。朝、8時からの連絡会は、昨年5月より継続して行っていますが、折角、毎朝集まるんだったら、その僅かな時間を使っての読書会をしたら…との簡単な動機です。しかし、どの様な本を選択するかが問題です。考えた挙句、どうせ皆で読むんだったら、経営論の王道であるドラッカーを読もうと思い『プロフェッショナルの原点』を



選びました。

全員が同じ本を持ち、輪番で声を出して読みます。声を出して本を読む事など、中学時代以来でしょうか？ 多少の照れもありますが、慣れがそれを解決してくれました。読書後は当番が、その感想を話すとともに、他の人との意見交換を行います。お互いに意見交換することによって、本に記載してある内容の、管理者として、あるべき姿勢、とるべき行動等が少しでも共有されとると思っています。本に書いてある内容が、実際の仕事では中々マッチしない事は沢山ありますが、管理職として基本・意識の変化は自分も含めて、徐々に向上しているのを実感しています。日々の継続は、必ずや力・結果となって表れて来ると信じています。今年度の当社のスローガン『Try to Change』に向かって、あなたも、新しい変化・前進の一步を踏みだしませんか？



主催者にも参加者にも喜ばれることを第一義に一学会支援活動

ご存知の方も多いかと思いますが、当社営業部では、学会のお手伝いを行っております。

プログラムおよび抄録集の印刷や、事務局代行として、演題の受付・各種お問い合わせへの対応・参加される方々へのご案内などのお手伝い、当日の運営のお手伝いなど、様々な活動をさせていただいております。

最近では去る2月4日に第24回日本高精度放射線外部照射研究会、6月7-8日に、第44回日本結合組織学会学術大会・第59回マトリックス研究大会 合同学術集会のお手伝いをさせていただきました。営業部のみならず、事務部、人材部からも、部門の枠組みを超えた協力体制をつくり、全社一丸となって無事終了することができました。

学会をはじめ、各種イベントの企画から実施まで幅広く支援できる体制が整っております。何かありましたらお気軽に営業部までお問い合わせください。

営業部 藤野政隆



あなたの提案を待っています!!

提案制度が始まります

ライフサービスでは、業務の改善・工夫等に対し、社員の皆さんが、誰でも、いつでも、気軽に提案できるよう、提案制度を開始しました。皆さんの、ほんの小さな提案が、少しでも良い業務向上・効率化に繋がればと期待しています。

お寄せいただいた提案は、関係部門と検討し、建設的な提案は、業務等に反映させるよう努めます。

皆さんからのアイデア・提案が、素晴らしい会社・職場を作り上げていくことを信じています。

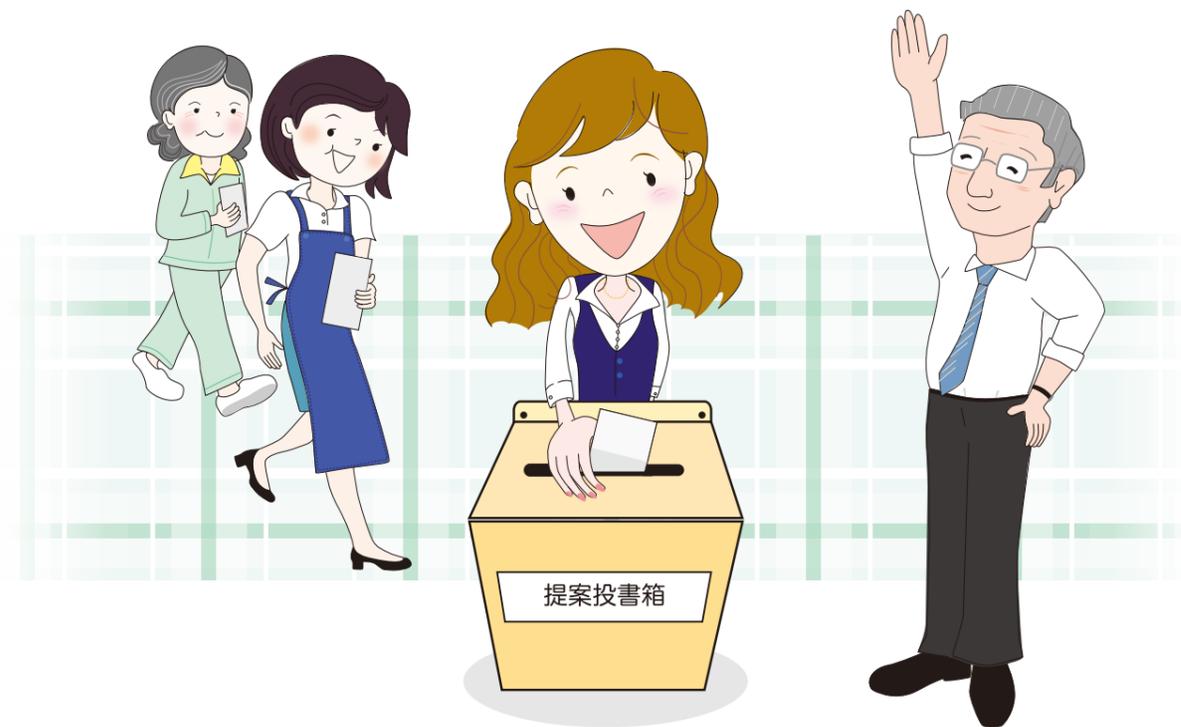
一人ひとりの楽しい提案を心よりお待ちしております。

ここを直せば
もっと効率が
良くなるのでは!

同じ作業をしているかも
片方を省けば?

順番をこう変えれば、
時間が短縮できそう...

など、いいアイデアが浮かんだら、提案投書箱へ!
提案された方には、もれなくQUOカードをプレゼントします。



第四回 北里大学理学部事務室

理学部は、昭和37年4月に北里大学第1号の学部として旧衛生学部の改組により、生命科学を始めとする学際分野で活躍できる幅広い知識と高度な研究能力を有する創造力豊かな研究者、教育者、技術者を育成することを目的とし、平成6年4月に物理学科、化学科、生物科学科の3学科により発足しました。現在は理学部では大学院理学研究科を含め930名程の学生が学んでいます。

理学部事務室ですが、事務長1名、課長補佐1名、総務係5名、教務係3名、学生係4名、総勢14名構成となっています。また、理学部図書館4名、R1管理室1名があり、事務室と協力しながら各々の運営をしています。ちなみに図書館ですが、理学の専門図書が約3万冊あり、学生のみならず教員の研究活動にも寄与しています。また、図書館の上階にはパソコンとプリンターが設置されている学生ホールがあり、その吹き抜けになっている天井は明るく開放感があり、学生にとっての憩いの場所になっています。

さて、話は事務室にもどります。まず、年齢構成ですが、私も含め少々ベテランがいる程度で、比較的若い職場です。また、本年4月には元気な新人が仲間に入りしさら

に平均年齢がさがりました。

事務室の印象ですが、アットホームな雰囲気があるとよく耳にします。お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

北里ライフサービスのみなさまにお世話になっているのですが、『物品調達』、学生便覧、シラバス、卒業論文などの『印刷業務』、『清掃業務』、があります。すべてにおいて適切、迅速にアフターサービスもばっちり対応頂きとても感謝しております。

また、昨年度より『たのめーる』によるインターネットでの用品購入が可能となり手続きが便利、かつ、低価格で購入が出来き担当者もとても喜んでます。

関根社長、児玉部長、藤野課長補佐、山田店長、藤本さんを始めた北里ライフサービスのみなさん、さらに、清掃を担当される方々には、学生へのお心遣いも頂き感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りし御礼申し上げます。

今後とも、理学部および大学院理学研究科をよろしく願ひ致します。

理学部事務室 田中



寺本事務長率いる理学部事務室の面々

2周年記念セールを開催いたします!

いつも北里ライフショップをご利用いただきまして、ありがとうございます。

おかげさまで、この8月でライフショップも2周年を迎えます。そこで、9月1日より『ライフショップ2周年記念イベント』を開催します。1周年記念セールでは大変好評につき、プレゼントが早々に足りなくなってしまう、楽しみにしていた皆さまにはご迷惑をお掛けいたしました。今回の2周年記念セールは、より多くのプレゼント・お買い得商品をご用意しています。是非ご来店くださいますよう、スタッフ一同お待ちしております。



すごい文具のご案内

フリクションボール3 (全5色)

『フリクション』は単色での販売でしたが、『フリクションボール3』は、1本で3色を使い分けことができ、何度でも書き消し可能な利便性の高いボールペンです。インキ色は黒・赤・青のベーシックな3色。ペン先は0.5mmの極細タイプで、手帳や資料などの細かい箇所への書き込みに適しています。

当ショップでも事務室様、学生様へ多数販売しております。是非一度ご来店いただきお手にとってみてください。



価格 ¥630 (税込み)

その他 店内文具
20%OFF
で販売中!!



私の故郷

青森県 青森市

中野と子 施設部清掃一課

WATASHI no FURUSATO

●青森市

5

私の故郷は、青森県青森市です。本州の最北端にあり、地図では、まさかりの型をしている所です。

東北三大祭りのひとつでもある、ねぶた祭りが全国的にも有名です。8月2日から8月7日まで行われ、7日には、ねぶたを船の上のせ流します。

私も地元には、鈴のついた浴衣に花笠をかぶり、ハネトになりました。跳ねるたびにシャンシャンと鳴る鈴の音、ラッセラー、ラッセラーのハネトのかけ声が祭りをより一層盛り上げてくれます。大きなじょうばり太鼓の音が腹に響き、生きるエネルギーが沸き上がってくる感触を、祭りの季節が来るたび思い出します。



社員すべての人々と 関わる仕事を…

事務部 部長 永山乃丸

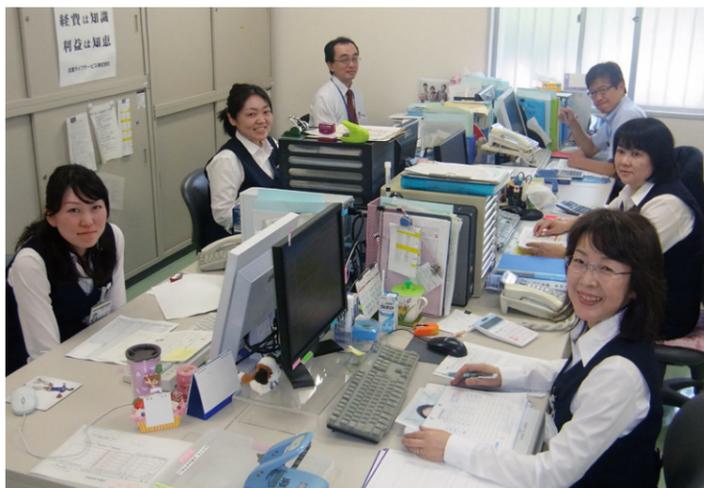
本社の奥、パソコンとにらめっこ、こつこつと作業をこなしている事務部です。まずは、メンバーの紹介から座席順にご案内します。

- ◆三枝圭子
経理の出納、請求書の発行、売上の集計などを担当しております。
 - ◆早稲田 奈緒美
社会保険関係を一手に引き受けております。
 - ◆佐々木 玲子
経理を担当しております。細かい数字と格闘する毎日です。
 - ◆山本 真由美
人事関係、特に給与計算を担当しております。タイムカードの用意も行っております。
 - ◆中村 浩(課長補佐)
総務担当です。仕事の種類が多く、会社内外からの電話が一番多いかもしれません。
 - ◆永山乃丸
髪が薄い部長です。入社からしばらくは、施設の現場にいました。
- 以上の6名で作業を行っております。

事務部は、会社の内外であまり目立つ部署ではありませんが、会社にとって重要な仕事をしています。会社で重要なものとして『ヒト・モ

ノ・カネ』の3つが挙げられると思いますが、この3つすべての業務を事務部で行っております。『ヒト』については、いわゆる人事や給与、『モノ』については、備品の購入など、『カネ』については経理、というわけで、実際に会社の収入を生む部署ではありませんが、会社の資源を管理しているのが事務部というわけです。社員の皆様が安心して働ける職場作り、事務業務を通して今後も一層頑張りますので宜しくお願いします。

硬い話はこれくらいにして、今年の当社は『Change』を謳っております。今まで不足していた、社内の交流や各種の研修など、今後進めていきますので、どうかご期待下さい。



左から時計回りに、早稲田、山本、永山、中村、佐々木、三枝



新車を購入しました

この度、当社では新車を2台購入しました。1台は、廃棄物を相模原市の清掃局まで搬送するための、パッカー車です。現在使用しているパッカー車の老朽化に伴い、購入しました。もう1台は、リフトの付いたトラックです。鉄くずや粗大ゴミなどを運搬する際に使用する目的で購入しました。

どちらも施設部で重要な働きをする車です。6月15日に、源悟山頭正寺で、お祓いをしてきました。



My Smile, Your Smile, We are Smiling!

ちょっといい話②③

入社から2ヶ月が過ぎて

松村 薫 人材部人材一課

4月に社会人となってから2ヶ月が過ぎましたが、毎日新たに学ぶことがあり、あっという間の2ヶ月だったように感じています。しかしその中でも、仕事のやりがいを感じることができる経験を数多くさせて頂きました。



交通事故で入院された患者さんのご家族に、必要な手続きのご案内やご質問にお答えしたところ、「初めてのことで何も分か

らなかったので、色々聞けて良かったです。」と言って下さいました。

また、入院費のことでご相談にいらした患者さんが後日、「先日はありがとうございました。助かりました。」と笑顔で声をかけて下さったこともありました。

直接診療に関わることはありませんが、患者さんやそのご家族に安心して頂けることへ貢献でき、うれしく思い、やりがいを実感することができました。

今後も安心や笑顔へ繋がる仕事ができるよう、心がけていきたいです。

病院の顔として

渡部 早智 人材部人材二課

早いもので4月に社員となってから3ヶ月経とうとしています。社会人としてはまだまだ未熟で日々悪戦苦闘していますが、上司や先輩や仲間にも恵まれ楽しく業務に臨んでいます。



病院には様々な患者様がいらっしゃいます。患者様一人ひとりに適した対応を考えることは大変難しくありますが、同時にやりがいも感じられます。患者様のことを懸命に考えてした行動

をよるこんでいただけたときの嬉しさは、とても心地良いものです。

近頃特に気を配っていることは受付対応中の目線です。

忙しい時は作業に集中してしまいがちなので意識的に患者様の顔を見るようにしています。これによって説明が伝わりやすくなり、また患者様も質問をしやすくなっていると思います。

受付は病院の顔であるときよく耳にしますが、その一員として恥ずかしくない気配りができる事務員を目指して、成長していきたいと思っています。



橋川和枝
施設部清掃一課

～母からしてもらったことを娘にも～

私は子供の頃、チントンシャンと、踊りをしていました。その時のきもの、十代後半から始めた、茶道(お茶会)でのきもの、七五三・成人式のきものなど、すべて母親が縫って着付けをしてもらっていました。

二人の娘にも母からしてもらったように、何かしてあげたいとの思いで、フラワーアレンジメント教室に通うようにしました。

娘たちが小学生の頃にはピアノの発表会で髪飾りやコサージュなど作り、着けてやっていました。いずれはウェディングブーケをつくりたい、つくってあげたいですが、いまだに実現しません。

以前は時間を忘れるぐらい夢中に花と接していた時期もありました。現在では、亡き夫の仏壇にアレンジした花を供えています。

私にとって、いやしのひとときです。



What do you do
in your free time?